

長崎港空NEWS

佐世保港前畑地区岸壁改良工事 (令和2年撮影)



・今回紹介する工事

～佐世保港前畑地区 岸壁改良工事～

・今年開港450周年を迎える長崎港

・出前講座を実施しました！

・トピックス

～厳原港離島ターミナル供用式を
開催しました！～

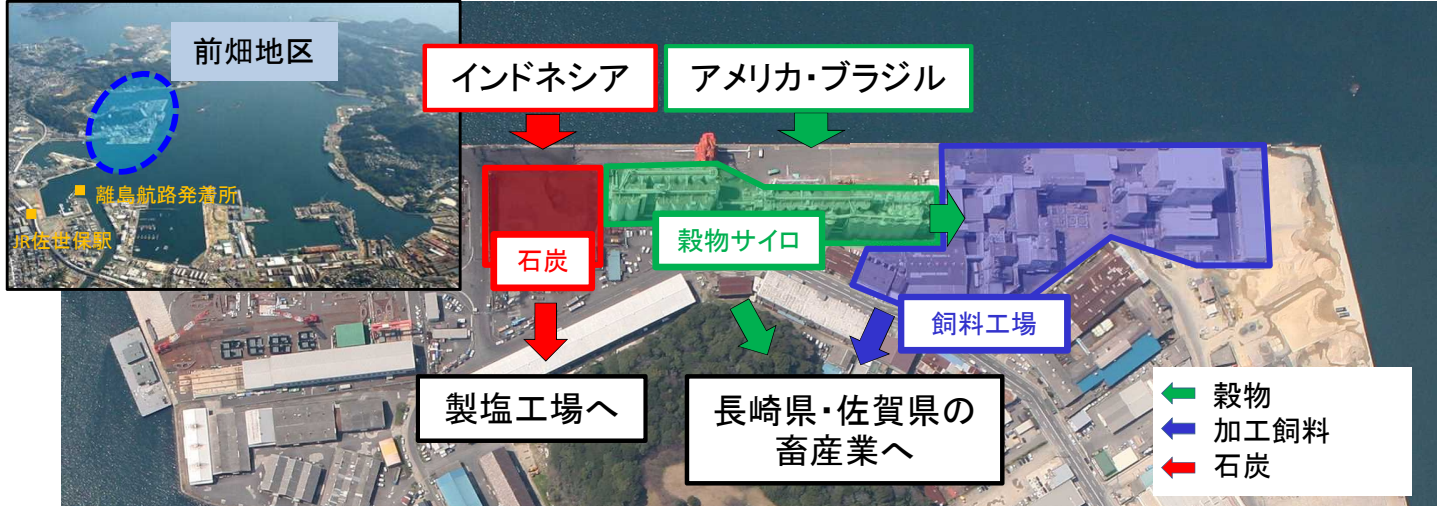
2020 Winter(冬号)



今回紹介する工事 ～佐世保港前畑地区 岸壁改良工事～

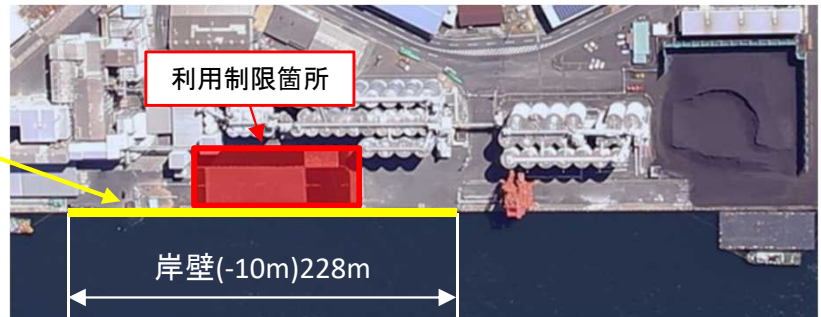
前畑地区の紹介

佐世保港前畑地区の背後には、穀物サイロ、飼料工場、石炭集積所が立地しています。当地区の岸壁にてアメリカやブラジルなどから輸入した穀物(トウモロコシなど)が荷役され、穀物サイロに貯蔵、飼料工場にて飼料が製造されます。飼料は、西九州地区(長崎県、佐賀県)をメインに供給され、畜産業を支えています。石炭は、主にインドネシアから輸入され崎戸島の製塩工場などで利用されます。



事業目的

- 佐世保港前畑地区は、飼料サイロや飼料工場が岸壁背後に立地しており、西九州地域の畜産業を支える物流拠点となっています。しかしながら、岸壁(-10m)は建設後約50年が経過し、老朽化により一部利用制限がかけられています。
- 上記の問題を解消するため、岸壁本来の機能を回復する工事を実施しています。



工事状況



→ 今後、床版を据え付けて完成させます。

長崎開港450周年アンケートを実施

長崎開港450周年を迎えるにあたり、50年後の長崎港の将来像を策定するためのアンケート調査を国、県、市及び商工会議所が連携し実施しました。アンケート調査は、11月27日に大波止ターミナルで28日及び29日の2日間は、長崎駅で実施しました。3日間で約460名の方にアンケートを答えていただきました。このアンケートの結果を基に長崎開港450周年記念事業の一環である「海洋シンポジウム（仮）」で次の50年を見据えた長崎港の将来像が発表される予定です。

アンケート調査の様子



アンケート調査の状況をテレビ局のクルーの方が取材に来られました。



会場ではアンケートだけでなく、長崎港が歩んだ歴史や長崎県内で行う港湾事業の概要説明ブースを設けました。



アンケート調査は子供からお年寄りまで、また、長崎県外から訪れた人など様々な人に答えて頂くことが出来ました。



県と市のマスコットもアンケート調査の応援に駆けつけてくれました。

今年は様々なイベントが開催されます！

Sea級グルメ



長崎開港450周年記念事業の連携事業として長崎ペーロン選手権大会やながさきみなとまつりが開催されます。また、みなとオアシスNAGASAKI運営協議会が主体となり「第1回 Sea級グルメ九州大会 in NAGASAKI」が11月に開催されます。是非、皆さんも足を運んでください！

みなとオアシスが位置する地元のみなとで水揚げされた海産物や、みなとオアシスの背後地域で地産地消される名産品を用いてつくられ、「ぜひ、多くの人に味わってほしい」と自信を持っておすすめできる飲食物のこトです。飲食物には何らかの“Sea(海)”の要素が含まれています。

詳しくはこちら！

<https://nagasakiport450th.jp/>

出前講座を実施しました！

出前講座について

小学校5年生の社会の授業で「みなととくらし」と題して、12月9日に青潮学園で長崎港湾・空港整備事務所による出前講座を実施しました。

出前講座の様子

出前講座ではみなとと暮らしのつながりや長崎港の各地区の役割について説明を行いました。途中にクイズを交え、小学生が飽きないような工夫を行いました。



長崎港の各地区が、どのような役割を持っているか説明を行いました。



最後に質問コーナーを設けました。みなとについて様々な質問を受けました。今後もみなとに興味を持って生活していただければと思います。



クイズには積極的に取り組んでくれる生徒が多く、様々な意見が出ました。完璧に回答してくれる生徒もおり職員もびっくりしました。

2021年に長崎港が開港450周年を迎えるということで、様々な人に「みなと」の重要性を知っていただくためにも、今後も積極的に出前講座に取り組んでいきます。

令和2年12月12日

厳原港離島ターミナル供用式を開催しました！

〈整備目的〉

物流機能と人流機能を分離させ、荷役の効率化、旅客の安全性の確保を行うとともに、国内航路と国際航路の発着場所を入れ替えることで旅客の利便性の向上を図ることを目的として、国と県と対馬市が協力してターミナルを再編してきました。

今般、対馬の新たな玄関口となる、国内旅客ターミナルが完成したことで、今後の対馬の益々の発展が期待されます。

〈厳原港国内ターミナルビル〉

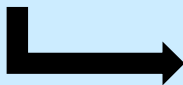


R2.12.12



Answer!(長崎港空NEWS 秋号)

Q. アスファルト舗装(黒)とコンクリート舗装(白)の場所があります。なぜでしょう？



A. アスファルト舗装は施工期間が短いなどの長所があり、滑走路や誘導路で使われています。一方で、油におかされやすいという短所もあります。そのため、燃料を補給するエプロン(駐機場)などはコンクリート舗装になっています。



長崎開港 450周年
SINCE 1571



国土交通省 九州地方整備局
長崎港湾・空港整備事務所



〒850-0961 長崎市小ヶ倉町3丁目76-72
TEL:095-878-5175 FAX:095-878-6734
URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

フリーダイヤル おーいに よくなれ みなと
0120-497-370
最寄りの港湾・空港整備事務所につながります

長崎港湾・空港整備事務所の業務内容

当事務所では、重要港湾における国が行う港湾施設の整備(岸壁、防波堤、航路、泊地など)と長崎空港の土木施設(滑走路、誘導路、エプロン等)の整備を行っています。具体的には、施設を整備するための工事の発注や監督業務、工事を発注するための予算の要求などを行っています。

また、海やみなどに関する相談、アドバイス及び出前講座等を行っています。

- ※開発保全航路・・・国が開発及び保全を行う重要な航路のこと
- 長崎県内の開発保全航路・・・蝶蛾ノ瀬戸航路(じょうがのせところ)
- 万関瀬戸航路(まんげきせところ)
- 平戸瀬戸航路(ひらどせところ)

出前講座とは・・・？

出前講座では、職員が皆さんの職場や学校等に出向き港・空港について分かりやすく説明します。

